



イラストレーション：萩原亜紀子

1冊まるごと特集!

人を生かし自分を活かす

意思決定支援と ACP 話し合いの手引き

尊厳死や安楽死が世間の注目を浴びようになり、多くの国民はどのように生き、どのように最期を迎えるか、少しずつ考え始めるようになりました。

医療の現場で生命を守る医療専門職は、患者の物語から患者が大切にしていることを把握し、それを医療やケアに活かすための話し合いの術を身につけているでしょうか。患者の声を聴くことに今ひとつ自信が持てない医療者は少なくありません。

本特集は、医療の進歩により、折り合いをつけながら病と共に生きる人が増える日本で、人々が最後までありのままに生き、「これでよかった」と思える人生を支える、医療専門職と患者・家族との話し合いの方法について、読者の学習を支援します。

前半では、厚生労働省による「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を踏まえてアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の基本的知識とエビデンスを伝え、米国で開発され効果が検証されている「患者との話し合いの手引き」の概要と、それを用いた意思決定支援の具体的方法やコツについて解説します。後半では、各領域の専門家による「意思決定支援とACP」の実践例を、その礎となる思考とともにお伝えします。